

ローランド株式会社

2023 年 12 月期 第 1 四半期決算説明会 Q&A 要旨

日時：2023 年 5 月 12 日 13:00~13:30

説明者：執行役員 CFO 袴田裕一

Q1. 米国のセルスルーが前期 1Q よりも好調となっている背景について教えてください。

新しいライフスタイルの定着により余暇時間が増加しております。楽器は余暇時間を楽しむものとして確実に定着してきており、堅調な需要が継続していると考えております。

Q2. 日本のアニメ効果について具体的に教えてください。また、海外への影響についても教えてください。

「ぼっち・ざ・ろっく！」というアニメの中で当社のエフェクターやアンプが使用されており、好調な売上に繋がっております。海外への影響については、現時点では分かりませんが期待はしております。

Q3. 欧州の市況について 2Q 以降の考え方について教えてください。

春になりエネルギーコストの著しい上昇影響が薄まり、市況も回復してくると考えております。

Q4. 中国の市況について、昨年末からのゼロコロナ終了による消費の冷え込みがあったと思いますが、今後の回復についてどう考えているか教えてください。

需要は回復してくると考えておりますが、まずは旅行や飲食などが回復し、モノ消費は遅れて回復してくると考えております。

Q5. デイラー在庫の調整影響は 2Q 以降も続いていくのかについて教えてください。

デイラー在庫調整影響は 1Q が最も大きいと考えています。影響は 2Q まで続きますが、3Q 以降は落ち着いてくると考えております。

Q6. 電子ピアノの競合環境について教えてください。

競合は激しくなっていますが、当社製品は差別化ができており、継続的に差別化要因を訴求し需要を取り込んでいきたいと考えております。

Q7. 競合環境がエスカレートした場合、価格競争が始まることも懸念されますが、どのように対応されるのかお考えを教えてください。

価格競争での利益率悪化は極力避けていく方針です。

Q8. DW 社の連結による営業利益への影響について教えてください。

ガイダンスでお示したとおり、年間で4億円程度のマイナス影響を想定しています。のれんなどに加え、新製品開発への先行投資があるためです。シナジー効果も今期後半から出てくるため、来期以降は利益貢献すると見込んでおります。

Q9. DW 社の新製品開発先行投資について具体的に教えてください。

DW 社が開発中の新製品に当社のノウハウも投入し、今期中のリリースを目指して順調に開発が進んでおります。

Q10. 棚卸資産の今後の推移についてご見解をお聞かせください。

製品在庫については、前期末をピークに削減できており、ミニマイズに向けてコントロールを継続していきます。材料在庫については、前期末よりも増加しています。これは、調達リードタイムが長い環境下で在庫切れを避けるためです。今後は減少に転じる見込みです。

※本資料は、ご出席者様から頂戴した主な質問をとりまとめたものです。回答の意図をより分かりやすくするため一部加筆修正を行っております

免責事項

本資料には、ローランド株式会社の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、

当社における実際の業績と異なる恐れがあります。